

- 今井克義君 今年1年何事もなく無事終了しそうです。来年も良い年になるように頑張りたいと思います。
- 米山忠俊君 SAAとして半年すぎました。ほっとしています。いつも御協力感謝しています。来年もよろしく。
- 本間建雄美君 昭和63年度大変皆様には御迷惑かけました。又、来年も御迷惑をかけますので宜しく。
- 吉川吉彦君 S.63年も無事に過せたことに感謝します。
- 角田宏衛君 無事一年を過せた事に感謝して。
- 村山誠一君 今年最後の例会に。
- 杉本勝昭君 今年最後の例会になりましたね。大変お世話様になりました。来年もよろしくお願い致します。
- 笹原勝治君 今年1年昼も夜も楽しい1年でした。来年もますます楽しくします。皆様よいお年を。
- 淵岡茂君 1年間お世話になりました。来年も宜しく願いいたします。
- 堀川正幸君 今年1年有難うございました。来年もよろしく。皆様良いお年を!!
- 石川勝行君 昭和63年ももうすぐ終り。来年も頑張ります。
- 佐藤義英君 今年は不幸がありましてニコニコボックスにはあまり協力できませんでした。今年最後の例会に。
- 落合益夫君 クリスマスパティーのキャンセルと本日も途中で退席しますのでよろしく。
- 河井増雄君 前回のクリスマス例会は楽しかったです。今年はこれで最後ですが皆さんよいお年をお迎え下さい。
- 佐藤啓策君 内藤さんの入会歓迎致します。
- 目黒宣行君 2回つづけて多額のボックスありがとうございました。来年もニコニコボックスをよろしくお願い致します。先週のクリスマス例会、親睦委員の皆さんありがとうございました。

卓 話： 鈴木岳詩君



ただ今梨本会長様より御紹介いただきましたように私、七月よりロータリー財団の奨学金をいただきまして、アメリカのチューレーン大学で勉強させていただきました。本当なら来年の5月まで勉強させていただくはずでしたけれども、初めての留学でありますのに私少々はりきりすぎまして（文学部という外国人にはむずかしい分野で）欲ばって大変な授業をしょい込みすぎまして、ロータリーの方とも御相談した結果、予定の半分で帰らせていただくことになりました。この留学の機会を与えて下さいましたロータリークラブに心から感謝いたし

ますとともに、勉強に追われまして十分な活動ができずに帰ることになってしまったことを心からお詫び申し上げます。5ヶ月間という短いといえば短い期間でありますし、学校の勉強に十分に見聞を広めるなどということはできませんでしたが、せっかくみなさんのおかげで体験させていただいた留学です。私の見ました限りのアメリカについて御報告させていただきます。

私の行きました大学はメキシコ湾に面したアメリカ南部のルイジアナ州のジャズの発生地として有名なニューオリンズという町にあります。このルイジアナ州はフランス人が発見し、スペインがとりあげ、ナポレオンがとにかえし、アメリカが買ったという歴史がありまして、殊にニューオリンズは新しいオリンズ、日本ではオルレアンと呼んでいるフランスの町の名からつけられているフランス風の町です。南部の奴隷州だったのでやはり黒人も多く、カナダのフランス植民地からの移民も入り、ミシシッピー河の河口があり、港町ですので、中南米からベトナムなどのアジアからの難民移民がごたまぜになって種々雑多な人種の入りまじった町です。人種のるつぼと言われるアメリカのその点ではミニチュアのような感じですが、ここは特殊な町、これがアメリカだと思っではいけないとよく言われました。よく南部の州は人種差別が激しいということがいわれます。地元ロータリークラブの方はそんなことはないんだよとおっしゃっていましたし、私も直接にあからさまな差別を感じたことはありません。先ほどもお話ししましたように、色々な人種のまざりあった所ですから、いちいち肌の色で黄色いから、黒いから違ったあつかいを受けるということはないようでした。しかし、違いというのは感じました。たとえば単純な肉体労働、ウェイトレス、コック、校内の清浄作業といった仕事をしている人は圧倒的に黒人の人が多かったですし、バスに乗ると乗客は黒人が多いのです。というのは、アメリカは、日本以上に車社会で、たいていの人は車を持っているので、バスを使って通勤したりするのは、車のない、つまりお金の多い人が多い。そして乗客に圧倒的に黒人の人が多いということは、黒人の人に貧しい人が多いということになります。一度ニューオリンズでほぼシートが全部埋まっているバスの中に、黒人でないのは、私と、たぶんメキシコかどこか中南米人のカップルだけということになったときがありました。そしてそのバスがある一かくを通りましたとき、道を歩いている人、家の前に立って話をしている人そこにあった墓地に集まっている人、すべてが黒人という状況を見ました。たしかに、黒人だけが住んでいる、白人だけが住んでいるというはっきりと区別された住居区というものがあるのだということを感じました。一度、知り合いの日本人の人がここには人種差別などない、みんな平等だ、同じだという白人のアメリカ人の人にそれでも、そういったはっきりとした区別された住居区があると反論したときにアメリカ人の人は「ウィーハブライトトゥビィセパレイテッド」私たちは分離している権利があるといわれたそうです。それを聞いて、私は確かにここにいる人たちは平等であることを尊重してそうあろうと努力しているけれど、差別、または区別意識というものは、やはりまだ存在しているのだらうと感じました。もちろん高度な、重要なポストについている黒人の人も多いでしょうし、黒人も白人も混ざって住んでいるところもあるかもしれませんが。チュレイン大学は国内の私立大学で9番目に黒人の学生率が高いと学校新聞に大きな記事が出ていました。しかしそういった